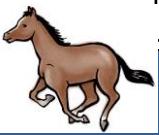


千布小学校だより

1月号 R8.1.26

天童市立千布小学校

校長 熊谷 雅志



令和8年「午年」のスタート～新年、新たな気持ちで前進～

1月8日（木）から三学期が始まりました。三学期の登校は47日と短いですが、各学年のまとめとともに次への準備の時間でもあり大事な学期になります。始業式では、今年の干支である午年と関連させ、馬のように力強く前進し、夢や目標へ向かって挑戦、成功につながる年になるよう努力すること。そのために、未来や夢を考える時間を大切にし、その未来や夢を言葉にすることで充実した毎日につなげること。また、各学年に向けて次のような話をしました。（一部抜粋）

～今日からの三学期は、各学年の最後の学期で、新しい学年の準備の学期にもなります。

4月になると、一年生は、新一年生が入ってくるので、いろいろなことをやさしく教えてあげられるように今から準備しましょう。二年生は、三年生として低学年から中学年になり勉強する教科や内容も増えています。今までの復習をしっかりとし、三年生につながるようにしましょう。三年生は、四年生になるとクラブや委員会活動が始まります。責任ある活動が増えるので、自分で考え、正しく行動できるよう自分に挑戦しましょう。四年生は、高学年として六年生を支える学年になります。力強く挑戦し成功につながるよう準備・行動していきましょう。五年生は、最上級生として千布小学校を引っ張り、創っていく六年生になります。いろいろな場面で、下級生の良いお手本となれるよう、行動力があり前進できるよう準備をしていきましょう。最後に六年生、いよいよ小学校生活の集大成となる学期です。卒業に向けて、中学校入学に向けて、未来や夢を考える時間や言葉を大切にしていってください。最後まで、良きお兄さん、お姉さんとして、自分の行動や周りへの関わりを大切にしてください。～

新春恒例「書初め会」実施 1月9日(金)	縄跳び強化旬間の取組み 1月13日(火)～23日(金)	新入生一日入学、保護者説明会実施 1月23日(金)
<p>書の上達を願って、集中力や表現力を高める「書初め会」。歴史的には、平安時代の宮中行事から始まった「吉書の奏」が発祥元のようです。1、2年生は硬筆で短文を書き、3～6年生は下記を毛筆で書きました。</p> <p>3年：明るい心、4年：春を待つ 5年：強い意志、6年：夢を語ろう</p> <p>休み中に家で練習してきた成果を発揮して素晴らしい作品が完成し廊下に掲示しました。</p> <p>各学年で金賞を数点選び、その中から特選1点を選びました。特選の児童に、賞状とメダル（教育後援会より）を授与しました。</p>	<p>冬の体力づくりとして「縄跳び強化旬間」を設定し、全校児童が頑張って取り組みました。</p> <p>休み時間や体育の授業を活用して、技を増やしたり、続けてできるよう挑戦したりしました。</p> <p>休み時間は、縦割り班の活動になっており、上級生が下級生に跳び方のコツやポイントを教えたり、一緒に回数を数えたりして、温かい交流の場になっています。冬期間は外で遊ぶ機会も少ないので、安全に楽しく体を動かすことができる活動に取組んでいきます。</p>	<p>新入生一日入学に向けて、5年生が新入生のお世話をするため、実行委員会を中心に準備を進めてきました。当日は新入生を案内したり、遊びの時間を企画・運営したり、優しく、楽しく活動してくれました。</p> <p>5年生は準備の段階から、新入生が4月からの学校生活を楽しみにできるように、遊びや関わり方などを相手の気持ちになって考えてしていました。</p> <p>こうした活動の準備や計画、実施を通して、最上級生への成長を感じる場面がたくさんありました。</p>

三学期がんばりたいこと

代表:5年生代表児童

ぼくが三学期にがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、国語の学習です。ぼくは、国語があまり得意ではありません。授業中に先生の説明を聞いても、問題の意味が分からなかつたり、自分の考えを文章にまとめるのに時間がかかったりして、何度も困ったことがあります。特に、長い文章を書く学習では、何を書けばよいのか分からず、手が止まってしまうこともありました。

しかし、五年生になってからは、少しずつ国語に向き合うようにしてきました。授業の振り返りでは、短くてもよいので自分の考えを書くことを意識しました。また、漢字の練習では、形や書き順を確かめながら



ていねいに書くようにしました。その結果、前よりも文章を書くことに慣れてきて、問題が解けることも増えてきました。三学期は、今までの努力を続け、国語の力をさらに伸ばしたいです。

二つ目は、友達とのかかわりについてです。ぼくは、悪口を言うことはよくないと思っています。道徳の授業で、その場にいない人の悪口を言ってしまったことで、友達との関係がぎくしゃくしてしまうお話を学びました。その学習を通して、何気なく言った言葉でも人を傷つけてしまうことがあるとわかりました。悪口を言ってしまうと、言われた人だけでなく、聞いている人の気持ちも悪くしてしまうと思います。だからぼくは、本人がいないところでも悪口を言わないように心がけたいです。そして、友達の良いところを見つけて、認め合えるクラスにしていきたいです。

三つ目は、最高学年に向けての準備です。三学期は「六年生の0学期」と言われています。来年度、ぼくたちは干布小学校の最高学年になります。六年生になると、通学班の班長や縦割り班の班長など、今の六年生がしている役割を引き継ぐことになります。下級生のお手本となる行動が求められるため、正直言うと不安な気持ちもあります。



だからこそ三学期は、今の六年生がどのように行動しているのかをよく見て学びたいです。あいさつの仕方や、困っている人への声のかけ方など、小さなことからまねしていきたいと思います。

三学期はとても短い学期ですが、一日一日を大切にし、自分の目標を意識して過ごすことで、大きく成長できると思います。六年生になる自覚をもち、最後までがんばります。



主な行事予定

- 2日（月）通学班長会
- 3日（火）学校評議員会・いじめ防止対策委員会②
- 4日（水）朝会（交通安全感謝の会）
- 6日（金）3年「そろばん教室」
6年「薬物乱用防止教室」
- 9日（月）◆PTA常任委員会④
- 12日（木）授業参観 PTA全体会 学級懇談会
- 17日（火）拡大代表委員会（3年以上参加）
- 18日（水）朝会（表彰）
- 19日（木）通学班会
- 25日（水）朝会（歌）
- 26日（木）6年生を送る会

<季節の遊びを楽しむ子ども達>

1月20日の大寒以降、雪が降り続き、学校のグラウンドや築山では、ソリや雪だるまづくりを楽しむ子どもたちの元気な姿がありました。



おはなしの会「くれよんさんによる読み聞かせ実施

1月21日（水）、1～3年生、4～6年生の2回、読み聞かせと本の紹介をしていただきました。

初めは、生き物が食べる・食べられる関係（食物連鎖）でつながっているお話でした。次に1～3年生は「地獄のそうべい」（古典落語）を題材にした紙芝居、4～6年生は「東根の民話」を題材にした大きな版画の紙芝居をしていただきました。キーボードで生演奏の効果音もあり、子どもたちはその世界に入り込んだように真剣に聞き入っていました。最後に、紙芝居に関連するたくさんの本の紹介があり、興味関心が広がりました。

